

公開気象講演会開催のお知らせ

教育と普及委員会

教育と普及委員会では、公益活動の一つとして、一般市民の方々に気象に関する最新の研究成果や関心の深い事柄について解説することを目的した公開気象講演会を開催してきました。2023年度もオンラインで、下記のとおり開催します。参加費は無料で、気象学会員でなくても参加できますので、お知り合いの方々をお誘いの上、多数、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時：2023年11月19日（日）14：00～17：00

場所：オンライン開催

テーマ：日本海側の大雪と JPCZ

主催：（公社）日本気象学会 教育と普及委員会

後援：（一社）日本気象予報士会

趣旨：今回のテーマは、「大雪」です。2018年2月の福井豪雪、2020年12月や2022年12月の新潟県の豪雪等、北陸地方を中心に記録的な大雪がしばしば発生しています。その原因の一つとみられるのが「日本海寒帯気団収束帯」（JPCZ）という現象です。局地的な大雪は物流などを通して、社会的な大混乱をもたらします。今回の講演会では JPCZ の観測を通じたメカニズムや予測、大雪に対する対策や情報提供について、専門家の方々に詳しく解説していただきます。

1. 基調講演 JPCZ の謎を追う！——最強寒波直下の大気海洋船舶観測——
三重大学生物資源学研究科 教授 立花義裕
2. 大雪時の道路マネジメントと社員のスキルアップについて
東日本高速道路（株） 執行役員・新潟支社長（気象予報士） 梅木秀郎
3. 大雪に対する気象庁の情報発信
気象庁予報課気象監視・警報センター 予報官（元福井地方気象台長） 中村直治
4. 死者ゼロは不可能か
NHK 福井放送局 気象キャスター 二村千津子
5. パネルディスカッション
司会 オフィス気象キャスター（株） 代表取締役 岩谷忠幸
講演者の講演内容は、日本気象学会教育と普及委員会のページをご覧ください。

https://www.metsoc.jp/about/educational_activities/open_seminar

備考：参加無料ですが、事前の参加申し込みが必要です。詳しくは上記のサイトをご覧ください。

問い合わせ先：（公社）日本気象学会 教育と普及委員会
E-mail：msj-ed_2023@metsoc.or.jp